

# 代表質疑

3月3日の本会議で、各会派の代表者9人が、令和4年度予算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

## 市民が希望を持ち前を向いて進める市政運営を



公明党  
赤松 大一 幹事長

**議員** 都市再生及びコミュニティ創生に係る再開発については、進捗等により優先的な事業を判断することも予想される。着実な事業推進に向けた所見を伺う。  
**市長** 財源等のかかる時期を少しずつずらしながら、丁寧な優先順位を見極め、着実に事業を進めたい。

**議員** 厳しい状況にある中等度難聴者も対象に含めた補聴器購入費助成事業の実施を決めた背景等を伺う。  
**健康福祉部長** 18歳未満は補聴器購入の助成を行っているため、対象年齢を18歳以上とすることによって、障害者手帳はないもの間こえに問題を抱える中等度難聴者について幅広くサポートしたいと考えている。

**議員** 死亡及び相続手続などがワンストップでできる。おくやみ窓口の設置等に取り組むことである。デジタル技術の活用により、これからは市役所等の在り方が変わると考える。所見を伺う。  
**市長** デジタルで可能なものはデジタルに任せて、人と人が接触する部分が強化できると考えており、新しい市役所像を追求したい。

**議員** 義務教育就学児医療費助成制度における中学生の所得制限の撤廃と、高校生等を対象とした所得制限のない医療費助成について政策決定の経緯等を伺う。  
**市長** 子どもの貧困問題が深刻になる中で、子どもの命を守る施策として重要かつ緊急に取り組む施策であると判断した。

**議員** 福祉人材確保/三鷹台駅前周辺地区/学校3部制についてなど  
**市長** 三鷹市とこの設置・誘致も単独での設置も現在考えていない。まずは、これまでの経過や課題を洗い出した上で、次に設置・誘致等の検討もしていきたい。

## 新型コロナ対策と市民生活を守る市政運営を



民主緑風会  
谷口 敏也 幹事長

**議員** 新型コロナの影響で保健所の復活を求める声が少ない。都に保健所の復活、または感染症対策機

だ。まずはコロナ危機の中で得た経験について庁内的な研究、反省、問題提起をしっかりととして、次の段階で連携策を考えていく。  
**議員** 多くの財源が必要となる三鷹駅前再開発と天文台周辺のまちづくりについて同時に財政負担が生じることは避けるべきだ。予算に係る見直し等を伺う。  
**市長** 事業費については現段階では決まっていない。収支バランスに留意しつつ、まちづくりに寄与する費用対効果の高い計画とすることも出費が一時期に集中しないよう予算の平等化等もしっかりと意識しながら計画を作っていく。

**議員** 子どもの貧困対策は早急かつ確実に取り組むべき課題だ。ヤングケアラーの対策を含めた子どもの貧困対策について伺う。  
**市長** 子ども家庭支援ネットワークの機能を十分に発揮し、関係機関が連携して重層的な支援をしていく。  
**議員** スクール・コミュニティの実施について近隣住民などの協力を得るために、教育長の思いを説明する場が必要だ。所見を伺う。

**議員** コミュニティ・スクール委員会ぐらいの単位で、機会をつくり直接話したい。  
**市長** 協定の締結時点においても、国立天文台から土地価格は示されてない。今後、まちづくりを検討していく中で協議したい。

**議員** 本市の生活保護のケースワーカーは地区担当員の1人当たりの担当世帯数が国基準の80世帯を大きく上回る事態となっている。地区担当員を正規職員で増やすべきだ。所見を伺う。  
**健康福祉部長** 国が標準とする受け持ち世帯数に近づけるよう体制を整備したい。



日本共産党  
紫野あすか 議員

## 誰もが安心して暮らせるまちと福祉の充実を求める

**議員** コロナの感染拡大により、本市に保健所がないことで、どれだけ市民の命や健康を脅かすか実感できたと考える。保健所復活に向け行動するべきだ。  
**市長** 近隣市との設置・誘致も単独での設置も現在考えていない。まずは、これまでの経過や課題を洗い出した上で、次に設置・誘致等の検討もしていきたい。

**議員** 三鷹駅前再開発は、身の丈に合った、市民の声が生きる三鷹らしいまちづくりが求められている。地権者や市民の声をどのように聞き、生かすのか伺う。  
**市長** 地権者や関係者の同意を得て、大筋が決まった段階で、市民全体に対する理解を更に進めていく。

**議員** 市民を先導するような思い切った温暖化対策が必要だ。ゼロカーボンシティ宣言等を行うなど、本市独自の具体的な取り組みについて所見を伺う。  
**生活環境部長** 市独自の新たな取り組みについては三鷹市地球温暖化対策実行計画(第4期計画)の改定の中でしっかり議論していく。



三鷹市を管轄している東京都多摩府中保健所

**議員** 人権基本条例(仮

称)を制定しようとしているが、パートナシップ条例を先行して制定する考えはあるか。所見を伺う。  
**市長** 現在検討を進めている条例は、性別、性自認及び性的指向を含めて位置付

けることを想定している。パートナシップ制度の在り方は条例制定のプロセスを通して検討していく。  
**議員** 三鷹市の新しいまちづくりを切り開いていくよう、市民、市議会、市職員とワンチームで取り組んでいきたい。



いのちが大事  
伊沢けい子 議員

## 国立天文台開発にかかる予算は子どもや困窮世帯へ

**議員** 市は国立天文台北側の土地利用の考えを示したが、国税庁の路線価図に基づいて計算すると4.8ヘクタール分は96億円だ。当該地の価格は幾らなのか。  
**市長** 協定の締結時点においても、国立天文台から土地価格は示されてない。今後、まちづくりを検討していく中で協議したい。

**議員** 本市の生活保護のケースワーカーは地区担当員の1人当たりの担当世帯数が国基準の80世帯を大きく上回る事態となっている。地区担当員を正規職員で増やすべきだ。所見を伺う。  
**健康福祉部長** 国が標準とする受け持ち世帯数に近づけるよう体制を整備したい。

**議員** 井口特設グラウンドの利活用の検討として、民  
**議員** 職員の減少時代における今後の行政運営を伺う。  
**第一副市長** これまでの手法や方式にとらわれない、創造的で柔軟な行政運営が重要と考える。

**議員** 自治の在り方が根本から議論される変革の時代だ。施政方針では「令和の大改革」等により新時代へ挑戦する意気込みを感じるが、今後の自治体の在り方や担うべき役割を伺う。  
**市長** 施策の優先順位を明確にし、どこに注力するべきか人財と財源、時間等のバランスを考え政策を実行する必要があると考える。



令和山桜会  
伊東 光則 幹事長

## 新型コロナ対策を充実させて市民満足度向上を

**議員** 新型コロナウィルス感染症に関連する予算の基本的な考え方を伺う。  
**市長** 一定の見直しを行いながら、感染症対策の徹底

画(第2次改定)について市長の力強い思いを伺う。  
**市長** 三鷹発の新しいまちづくりを切り開いていくよう、市民、市議会、市職員とワンチームで取り組んでいきたい。

**議員** 高度成長期に構築された様々な地域社会を支える仕組みが転換期にあり、時代の変化に対応し、地域のつながりを深めていく必要があるとされている。時代の変化をどのように捉えているのか所見を伺う。  
**市長** 地縁型組織は少子高齢化等で担い手不足等になっている。地域社会を支える仕組みについて検討を進める必要があると考える。  
**議員** 学校3部制の実現によるスクール・コミュニティの創造に取り組むことについて。市民が学校3部制に期待できることについて基本的な考え方を伺う。

**議員** 全ての子どもたちに対し、多様で豊かな活動や体験をこれまで以上に提供することも、市民によりよい身近な生涯学習や生涯スポーツ、地域活動など多様な活動の場として利用されるようにしたい。  
**議員** 市民ニーズの多様化・複雑化、進化が進み、今以上に高度な幅広い専門的知識が必要となる。今後の市民参加や協働の取り組みについて所見を伺う。  
**市長** 企業やNPO、専門家との連携もこれまで以上に重要になってくる。市民参加、協働の幅をより一層広げていかなければいけないものと考えている。

**議員** 新型コロナウィルスの影響で三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業に遅れが生じていることについて「百年の森」について駅前



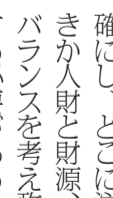
自立民主クラブ  
石井 良司 幹事長

## 未来を見据えた効率的なまちづくりに努めよ

**議員** 自治の在り方が根本から議論される変革の時代だ。施政方針では「令和の大改革」等により新時代へ挑戦する意気込みを感じるが、今後の自治体の在り方や担うべき役割を伺う。  
**市長** 施策の優先順位を明確にし、どこに注力するべきか人財と財源、時間等のバランスを考え政策を実行する必要があると考える。

**議員** 職員の減少時代における今後の行政運営を伺う。  
**第一副市長** これまでの手法や方式にとらわれない、創造的で柔軟な行政運営が重要と考える。

**議員** 職員の減少時代における今後の行政運営を伺う。  
**第一副市長** これまでの手法や方式にとらわれない、創造的で柔軟な行政運営が重要と考える。



自立民主クラブ  
石井 良司 幹事長

## 未来を見据えた効率的なまちづくりに努めよ

**議員** 自治の在り方が根本から議論される変革の時代だ。施政方針では「令和の大改革」等により新時代へ挑戦する意気込みを感じるが、今後の自治体の在り方や担うべき役割を伺う。  
**市長** 施策の優先順位を明確にし、どこに注力するべきか人財と財源、時間等のバランスを考え政策を実行する必要があると考える。